

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立伊勢原小学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	- 目的や意図に応じ、資料を使って話すことができる。 - 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができる。 - 思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができる。	- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。 - 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。 - 文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること。
算数	- 棒グラフから、数量を読み取ることができる。 - 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。 - 条件に合う時刻を求めることができる。	- 複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること。 - 三角形の面積の求め方について理解していること。 - 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述すること。
質問紙	- ほとんどの児童が、毎日決まった時刻に起床し、朝食を食べ、決まった時刻に就寝している。 - いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。 - 人の役に立つ人間になりたいと思っている。 - 友達と協力するのは楽しいと思っている。 - 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。 - 国語や算数の学習の大切さを自覚し、学習したことが将来役立つと考えている。 - 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは学習の役に立つと思っている。	- 国語や算数の勉強が「好きではない」「あまり好きではない。」と思っている児童が、やや多いこと。 - コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、学校で使用する機会が少ないこと。 - 学校の授業以外で、英語を使う機会が少ないこと。 - 新聞を読む機会が少ないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ることを目指した指導計画を立てていく。
 ○各教科等及び各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるようにしていく。
 ○「主体的・対話的な深い学び」の実現に向け、発問や指示を厳選し、児童が考えたり書いたり発表したりする時間を確保し、友達と考えを深め合う機会を設けていく。
 ○国語科では、目的に応じて、感じたことや考えたことなどの中から書く内容を選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしていく。また修飾と被修飾との関係を理解していく。
 ○算数科では、日常生活の事象を数理的に捉え、問題を見だし、問題を自立的・協働的に解決し、数学的な表現を用いて筋道を立てて説明していく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

日頃より児童の健康管理や規則正しい生活習慣の確立、宿題等に対する言葉がけのご支援をいただき、感謝申し上げます。
 学習においては、基礎的・基本的な知識及び技能を生かした問題解決的な学習を重視するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、発問や指示を厳選し、感染症対策を考慮しながら、児童が考えたり書いたり発表したりする時間を確保し、友達と考えを深め合う機会を設けていきたいと考えます。また、各教科や各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導をしていきたいと考えます。
 「GIGAスクール構想」に伴い、本校でも、児童1人1台のタブレット端末の整備が完了しました。今まで以上に、コンピュータなどのICT機器を活用する機会が増えていくと考えます。また長期休業等があった時は、ご家庭に持ち帰って学習を進めていくことも考えられますので、児童の利用について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
 今後も、児童が自主的・継続的に学習に取り組むことを目指して指導してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。